



## あさかわ まちづくり ニュース

長野市浅川地区住民自治協議会 まちづくり計画推進委員会  
令和2年3月1日 第27号 委員長・山田 潤 編集・北條昭吾

### 信大工学部土本研究室によるブランド薬師調査報告会3月7日開催！

長野市有形文化財に指定されているブランド薬師の調査をしてきた信大工学部建築学科土本研究室では、研究発表会を次の予定で開催しますので、どなたでもご出席ください。

日 時 : 令和2年3月7日(土) 13時30分～15時30分  
場 所 : 浅川支所1F会議室(浅川住自協事務室・北側)  
研究発表 : 信大工学部建築学科土本研究室生徒による卒論研究  
薬山地質調査報告 塩野敏昭氏(北信ボーリング、工学博士、長野高専講師)

### 2月18日『第2次浅川地区まちづくり計画』策定委員会が初会合

平成28年度から平成32年度の「第1次浅川地区まちづくり計画」が終了、令和3年度から令和7年度「第2次浅川地区まちづくり計画」第1回策定委員会が2月18日開催しました。



第2次浅川地区まちづくり計画策定委員会の初会合には、委員・事務局の20人が参加、計画策定では一次計画の83項目の中から実践を重視し、削除・新規追加していく。福祉関係は社協役員を中心に策定する「第2次地域福祉計画」によるなどコンパクトな形で掲載するとの方針に基づき、各策定委員は「第1次浅川地区まちづくり計画」をたたき台にして項目の削除、新規追加、

浅川地区の未来造りについて意見を4月下旬までに提出、5月に第2回策定委員会開催。11月下旬第2次計画(案)の策定完了。12月浅川住自協常任評議委員会で第2次計画(案)決定。3月印刷完了・配布との大まかなスケジュールを決めました。

なお策定委員会委員長は山崎智功浅川住自協会長、副委員長には高橋秀通浅川区長会会長・山田潤浅川住自協顧問、岡田哲子さん・徳武和夫事務局担当の4氏、総合的な事務局には原田孝成さんが選任されました。

### 保存会・住自協がブランド薬師について信濃伝統建築研究所と懇談

八榎神社保存会と浅川住自協ではブランド薬師保存について2月11日(火)信濃伝統建築研究所、一級建築士・所長の和田勝氏とブランド薬師全般について懇談しました。

信大工学部建築学科の土本教授からブランド薬師保存等に専門家を付けてアドバイスを受けたいとの助言に基づいて懇談を行ったもので、この席には八榎神社(ブランド薬師)保存会宮澤重徳会長、浅川住自協原田孝成活性化推進員、浅川住自協まちづくり計画推進委員会北條昭吾広報担当が出席しました。



この席で江戸時代弘化4年(1847)善光寺地震でブランド薬師が崩落、文久元年(1861)に再建された時の古文書。大正4年(1915)改修時の設計図・設計書。市有形文化財指定時の調査資料などが披露されました。

和田所長は資料を見て「設計図・設計書など素晴らしい資料が出てきた、県宝を目指すには貴重なもの」と指摘。現状の保存活動を聞きながら当面の改修や、県宝を目指す道のりなどアドバイスを頂き、今後は保存会顧問か相談役の就任等はしていただけるとの返事を頂きました。

和田所長は小田切家住宅を始め県宝に指定された住宅を数々手がけており県内を忙しく飛び回っています。

### 浅川の7池一斉決壊を想定した『ため池ハザードマップ』全戸配布へ

浅川地区ため池ハザードマップ作成学習会で市が地元区長等と論議

浅川地区飯綱山麓にある「ため池7池」が震度5強以上・豪雨等で一斉に決壊した時の『浸

水被害想定区域ハザードマップ』の作成をめざし長野市農林部森林農地整備課と地元区長等が論議してきました。1月28日浅川区内の区長等14人、市関係者5人が出席し学習会が開かれました。

## 長野市ため池ハザードマップ

(浅川大池・猫又池・上蓑ヶ谷池・下蓑ヶ谷池・蓑ヶ谷池(駒沢池)・大座法師池)

『ため池ハザードマップ』を作成、5月に浅川地区全戸に配布することになりました。

「ため池ハザードマップ」は平成23年3月11日の東日本大震災(M9.0、震度6強)でため池被災200ヶ所、福島県須賀川市の農業ため池「藤沼ダム」が決壊、死者7人・行方不明1人・全壊家屋19棟・浸水家屋55棟の被害が出たのをきっかけに、農水省は旧基準の「ため池ハザードマップ作成の手引き」をつくりました。浅川地区では大池、猫又池が該当しました。



平成30年の西日本豪雨ではため池の決壊が相次ぎ広島県では48池が決壊しました。これを受け県は新基準による「防災重点ため池数」を再選定、長野市では新基準の「防災重点ため池数」は64カ所を再選定、浅川の7池はすべて「防災重点ため池数」に選定されているとの事です。

学習会では飯綱山麓のため池7池「大池・猫又池・上蓑(みの)ヶ谷池・下蓑ヶ谷池・蓑ヶ谷池・大座法師池・丸池」が地震5強以上、豪雨等で一斉に決壊したとの想定で作成した「ため池ハザードマップ」が提示されました。

「防災重点ため池のハザードマップ」では7ため池が一斉に決壊して濁流が浅川ダムに流れ込むが、市ではダムの決壊を想定していないとの事です。また各地区で学習会の要望がある時は、学習会に出向いて説明をするとの事です。

## ダムゲート設置での貯水は構造的に難しい、赤外線カメラ設置は検討 浅川ダム展望台広場直売会・愛護会反省会で県が見解！

浅川ダム展望広場直売反省会は1月24日浅川住自協・県浅川改良事務所・市浅川支所から直売の関係者23人が出席して開催されました。



事務局から2019年度浅川ダム展望広場直売会の実施結果の発表がありました。直売会は年7回開催10月は台風19号の為に中止、売上高26万7215円、野菜等出荷者・出荷協力者は年20名。協力者年10名との報告がありました。

2020年度浅川ダム展望広場愛護会事業計画では、ダム展望広場環境整備は4月～11月年8回、野菜等直売は5月～11月年7回実施、県浅川改良事務所のダム祭りの実施などを決めました。参加者から県改良事務所に「大水の予想時、ダムゲートを閉めて貯水出来ないか」との質問に県から「台風19号ではダムに少しの貯水があった。ダム底には1m30cm×1m45cmの穴が空いている穴あきダムでゲートはない、ゲートを設置する構造になっていないので水圧などの関係でゲート設置は難しい」。また「ダムの貯水量について昼間はダムカメラの映像がネットで見られるが、夜間映像を見られるように赤外線カメラの設置を」との要望に県からは「赤外線カメラ設置を検討したい」との返事を頂きました。

## 「あさかわの里山と森を守る会」廃業するリンゴ園の伐倒に15人参加



浅川地区の里山整備に取り組む「あさかわの里山と森を守る会(略称・守る会) 会長・笠原清一」は、2月17日会員13人が参加して浅川真光寺で廃業するリンゴ園のリンゴの木20本を伐倒、会員は持参したチェーンソーで20本のリンゴの木を伐倒、枝払いして長さ90センチに玉切りされた木は運搬機で道路近く迄運ばれ、薪はボーイスカウトの行事に使う為運んでいきました。